

OpenText Availability

ビジネスクリティカルなシステムの継続的なレプリケーション、ほぼゼロのダウンタイム

利点

Availability は、マルチプラットフォーム IT 環境を抱える組織に常時稼働のレプリケーションをリアルタイムで提供し、データ損失をほとんど、あるいはまったく発生させることなく、重要なシステムの可用性を維持します。

- 重要なアプリケーションをオンラインで管理および維持
- コストのかかるアップグレードを回避することで、レガシーシステムのサポートと将来性を維持
- トラフィック量の多いサイトでダウンタイムによる収益損失を防止
- 希望する環境でミッションクリティカルなデータを保護することにより、コンプライアンスと SLA を達成
- 計画的および計画外のイベントに関連するリスクを軽減し、収益やブランドに影響を与えない
- ビジネス変革とプロセス改善を実現

OpenText Availability ソフトウェアを使用すると、IT 部門はダウンタイムとデータ損失を防止して、Windows および Linux サーバーの可用性を最高レベルに維持できます。物理、仮想、またはクラウドソースシステムやターゲット環境をサポートする OpenText Availability ソリューションは、マルチプラットフォーム IT 環境を抱える組織に適した、包括的な高可用性オプションです。

データとワークロードのマイグレーションに関する課題

重要な Windows および Linux システムの高可用性

ダウンタイムは、IT 部門のさまざまなソースから発生します。比較的にまれな自然災害をはじめ、一般的なユーザーエラー、悪意のある攻撃、OS またはハードウェアのアップグレードやパッチの適用などの計画的なダウンタイムといったもので、毎年、一部のシステムにダウンタイムが発生すると IT チームは断言できるでしょう。

ダウンタイムにより顧客または収益を失った中小企業の割合 54%¹

ダウンタイムにかかるコストは高くなりがちです。収益を生み出すシステムの場合、1 時間あたり数千ドルという単位で測定されます。ビジネスシステムの場合、生産性の損失も同様にコストがかかります。顧客ロイヤルティ、エンドユーザーの不満、競争上の位置付けに関連する潜在的な損失は、定義が容易ではありません。

重要なシステムとデータの保護

サイバーレジリエンス戦略の一環としてのシステム保護

OpenText Availability ソフトウェアを使用すると、IT 部門はダウンタイムとデータ損失を防止して、Windows および Linux サーバーの可用性を最高レベルに維持できます。次のものが含まれます：

- ソースとターゲット間における進行中のデータ暗号化
- サーバーハートビート監視による自動フェールオーバーが可能
- 統合された DNS 管理
- ネットワークへの影響を最小限に抑えるための 3 段階の圧縮
- 使用可能な帯域幅調整オプション
- 統合のための包括的な API
- アラート機能とレポート機能
- 簡単で中断のないテスト

サポート対象プラットフォーム

オペレーティングシステム：

- CentOS
- CloudLinux
- Debian Linux
- Microsoft Windows Server
- Oracle Enterprise Linux
- Red Hat Enterprise Linux
- Rocky Linux
- SUSE Linux Enterprise
- Ubuntu
- あらゆるハイパーバイザーに対応し、さらに以下の統合が可能：
 - Microsoft Hyper-V
 - VMware ESXi および vSphere

以下を含むあらゆるクラウドプラットフォーム：

- Amazon Web Services (AWS)
- AWS Outposts
- Google Cloud プラットフォーム
- VMware vCloud Director
- Microsoft Azure
- Azure Stack HUB

「OpenText Availability は、マイクロソフトや他のベンダーが提供しているツールよりも堅牢で直感的です。他のどのツールよりも快適に使用できます」

Dominick Delio 氏、
Auction Anything、
副社長

迅速なセットアップ、継続的な実行、容易な管理

管理の自動化

OpenText Availability の高度な管理機能により、データセット、ビジネスクリティカルアプリケーション、システム全体の状態に対して、リアルタイム保護および可用性管理のセットアップと構成を自動化します。完全なサーバー保護を使用すれば、管理者はアプリケーションやサーバー構成を深く理解していなくても、システム全体の高可用性を実現できます。

効率的で優れた保護

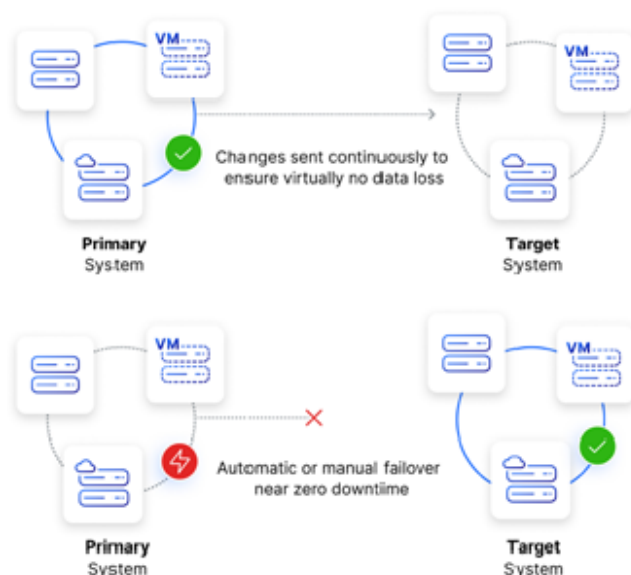
OpenText Availability は、特許取得済みのリアルタイム、非同期、バイトレベルのレプリケーションを備えています。帯域幅と処理が許容する速度で、すばやく継続的にセカンダリーサーバーにデータを複製します。

非同期のリアルタイムレプリケーションは、帯域幅と遅延の変動が運用サーバーに影響を与えないよう管理できるため、どんな地理的距離にも適しています。

リカバリニーズへの確実な対応

停電が発生した場合、待機中のセカンダリーサーバーへのフェールオーバーは簡単です。サーバー全体のフェールオーバーは数秒から数分で完了します。OpenText Availability は、運用環境の振る舞いを監視し、自動的に修正アクションを実行できます。または、オンデマンドで自動フェールオーバープロセスを開始することも可能です。適切なタイミングで、ボタンを押すだけの簡単な操作で自動フェールバックを実行することで、元のサーバーまたは代替サーバーにフェールバックして同期できます。

OpenText Availability の導入モデル



OpenText Availability は、組織がサイバーレジリエンスを強化できるようサポートします。サイバーレジリエントであることは、サイバー攻撃や偶発的なデータ損失に耐え、迅速に復旧できることを意味します。OpenText Cybersecurity は、データの安全性と保護を維持できるよう、あらゆる種類のサイバーレジリエンスソリューションを提供します。これにより、オンライン上で安心して作業を行えるようになります。当社のセキュリティおよびバックアップソリューションは、サイバーセキュリティをシンプルにします。